



炭焼き記録 ニセアカシア

炭化炉とは言っても炭焼きは技術です、経験の蓄積です。これは次回更にもうまく焼けるようにするための忘備録です。

- 2004.9.4** 倶知安町山田温泉の渡部さん別荘で後志森づくりセンターから窯を借りて会としてはじめて炭を焼く（協会アーカイブス参考）
- 2006.12** 日本財団に助成申請認可へ。
「外来樹ニセアカシア撲滅の一環としての木炭化実験」
- 2007.2.9** リンケージプラザで石狩森づくりセンター清水野さん他による座学勉強会。
- 2007.6.10** 当別フクロウの森で粘土を採取。澄川の砂と混ぜて使う。
- 2007.7.12** 薪割り機BELLSP21型シリアルNo**506341** 澄川で納品試運転。
- 2007.7.15** 札幌市南消防署に揚煙等の行為の届出書提出。
- 2007.7.24** 林試式移動式木材炭化炉1200型入荷札幌運輸から澄川に搬入。
- 2007.7.25-26** 澄川環境緑林南端入り口の台風倒木のニセアカシア（DBH30cm²本）を45cmに玉切り、径**8~10cm**に割り積み込む。燃材は付近にあるガンビ、ドロ、ヤナギなどの枯れ木を上層、中央煙道に詰め込む（上部に太い炭材を積むべきであった）。
- 2007.8.2** **8:30** お神酒を上げ石川さんの祝詞（のりと）により成功祈願礼拝。
8:45 点火
9:45 上蓋大取り付け
10:00 上蓋小取り付け
11:00 煙突を奇数位置に移す。煙突先端に笹の葉入れ下から木酢液とる。
- 11:20** 煙突**4**本のうち**2**本はスベアを使い縦煙突**3**本繋ぎに。南の風が強く側の吸入口**2**ケは半開とする。
- 11:45** 煙突位置変更
- 12:35** No1(真北)の吸入口を更に**1/5**に絞る
- 12:45** 奇数位置に変更。以後毎時間に位置変更
- 16:00** 煙突を南側**2**本のみとする
- 19:25** 煙突を外しすべての穴を土盛り
- 2007.8.3** 朝 まだ外套が暖かい
15:00 日本財団、札幌市役所みどりの管理課立会いの下、蓋を開ける。
- 2007.8.6** **13:00** 袋詰め作業；良品約**3.5kgx16袋=56kg**

自己評価；まあまあの出来。市販の炭とは比較にならないほど柔らかいが、ニセアカシアは比重が重いのでこの炭化炉でもミズナラより堅く焼ける。
(酒井)

